

2018年4月3日

日本メジフィジックス株式会社

## 日本医療研究開発機構「医療研究開発革新基盤創成事業（CICLE）」委託研究契約締結 ～「セラノスティクス」の早期実現に向けてコンソーシアム形成へ～

日本メジフィジックス株式会社（本社：東京都江東区、代表取締役社長：下田尚志、以下「当社」）は、国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）の平成29年度「医療研究開発革新基盤創成事業（CICLE<sup>1)</sup>」（第2回）に採択されたことを受け、3月30日付でAMEDとの委託研究契約を締結しましたので、お知らせいたします。採択された研究開発課題の概要は以下のとおりです。

課題名：「セラノスティクス概念を具現化するための創薬拠点整備を伴う、抗体等標識治療薬（アルファ線）とコンパニオン診断薬の開発」

代表機関：日本メジフィジックス株式会社

ご参考 [https://www.amed.go.jp/koubo/07/saitaku\\_00013.html](https://www.amed.go.jp/koubo/07/saitaku_00013.html)

近年、核医学の分野では放射線を利用した「治療と診断の融合（セラノスティクス）」を目指して、新しい医薬品の開発に大きな関心が集まっています。特に、放射線の一種であるアルファ線<sup>2)</sup>を放出するラジオアイソトープ（RI：放射性同位元素）を体内に投与し、標的とする部位を選択的にアルファ線で照射し、効果的ながん細胞を殺傷するという治療法の開発が進められています。今回、採択された研究課題では、この治療法に用いるアルファ線放出RIを標識した治療薬とそのコンパニオン診断薬を同時開発することで、効率的効果的ながん診療に貢献できると考えています。

当社は「セラノスティクス」を今後の成長戦略のキーフaktorと位置付けており、AMEDによるCICLE事業採択は、当社が掲げるセラノスティクス概念に基づく治療薬・診断薬開発の方針が評価されたものと考えています。当社が中核となって、複数のアカデミアや製薬企業とともにコンソーシアムを形成し、それぞれが保有する高度な知識や技術を融合させることにより、開発を加速し、一日も早く成果を創出し、医療への貢献を目指します。

<sup>1)</sup> CICLE：AMEDが推進する事業の一つで、革新的な医薬品・医療機器等の創出に向けて、政府出資を活用し、産学官が連携して取り組む研究開発を支援し、またその環境の整備を促進するもの。（AMEDのホームページから）

<sup>2)</sup> アルファ線：他の放射線に比べ、生物学的効果が高く、飛程が短い特色をもつ。目的とする癌細胞をより強力で破壊する一方、透過力が弱いため正常組織に対する影響も最小限に抑えられ、悪性腫瘍を集中的に攻撃する効果の高い治療が期待できる。

本件に関するお問い合わせ先

日本メジフィジックス株式会社（URL: <http://www.nmp.co.jp>）

総務部（広報担当）：兵庫県尼崎市潮江1-2-6

電話 06-4300-5541

Fax 06-6492-2549

本 社：東京都江東区新砂3-4-10

電話 03-5634-7006

Fax 03-5634-5170

日本メジフィジックス株式会社について

放射性医薬品を用いた核医学検査は、脳卒中、認知症、心臓病ならびに悪性腫瘍など幅広い疾病の診断に有用とされています。日本メジフィジックス（<http://www.nmp.co.jp>）は、住友化学株式会社とGEヘルスケアグループの合弁企業で、放射性医薬品のトップメーカーとして、高品質な製剤の開発、製造、供給に取り組んでまいりました。今後も医療のさらなる発展のために貢献を続けてまいります。